

5年、10年生存率データ更新・全国ガンセンター協議会

- 金曜日 - 12月11日 2021

毎年更新されている「全がん協加盟がん専門診療施設の診断治療症例」が11月10日に国立研究開発法人国立がん研究センターから発表になりました。いわゆる5年生存率、10年生存率というもので、2人に1人がガンになると言われている時代になると他人事とは思えなくなり、数値をご紹介しますみようと思いました。

この発表内容はメディアのニュースでも伝えられていますが、元のデータは以下のサイトから見ることができます。

https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2021/1110/index.html

今回の生存率のデータは、5年生存率が2011年～2013年にかけての診断治療された約15万人、10年生存率は2005年から2008年に診断治療された約12万人の追跡結果から算出されています。集計の基準などは以下のようになっていますが、肝心なのは今回発表された生存率は、相対生存率であるということです。相対生存率とは、がん以外の死亡要因を取り除いたもので、患者集団の実測生存率(死因に関係なくすべての死亡を計算に含めた生存率)をもとに計算されます。

集計対象

5年生存率：2011年から2013年に診断治療を行った症例のうち、集計基準を満たした151,568症例

10年生存率：2005年から2008年に診断治療を行った症例のうち、集計基準を満たした120,649症例

集計基準

- 15歳から94歳までの症例（15歳未満、95歳以上は除外）
- 良性腫瘍、上皮内がん、0期、転移性腫瘍は除外
- 自施設診断自施設治療、および他施設診断自施設治療症例（診断のみは解析対象外）
- 以下の基準を満たした施設のデータのみを集計
 - 臨床病期判明率60%以上
 - 追跡率（予後判明率）90%以上

実測生存率、相対生存率とは

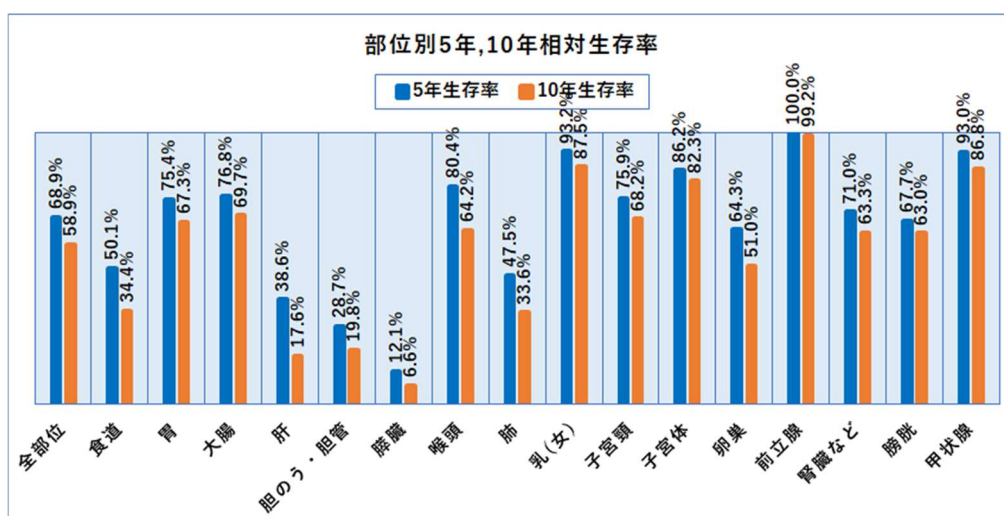
生存率には、実測生存率と相対生存率があります。実測生存率とは、死因に関係なくすべての死亡を計算に含めた生存率で、この中にはがん以外の死因による死亡も含まれます。一方、相対生存率は、がん以外の死因による死亡などの影響を取り除いたもので、患者集団の実測生存率を、患者集団と同じ性・年齢構成の一般集団における生存率で割ることによって算出されます。

さて部位別に生存率を見てみます。

部位 診断治療期間	5年相対生存率		10年相対生存率	
	2011-13	2010-12	2005-08	2004-07
全部位	68.9%	68.6%	58.9%	58.3%
食道	50.1%	48.9%	34.4%	31.8%
胃	75.4%	74.9%	67.3%	66.8%
大腸	76.8%	76.5%	69.7%	68.7%
肝	38.6%	38.1%	17.6%	16.1%
胆のう・胆管	28.7%	28.9%	19.8%	19.1%
膵臓	12.1%	11.1%	6.6%	6.2%
喉頭	80.4%	82.0%	64.2%	63.3%
肺	47.5%	46.5%	33.6%	32.4%
乳(女)	93.2%	93.6%	87.5%	86.8%
子宮頸	75.9%	75.7%	68.2%	68.7%
子宮体	86.2%	86.3%	82.3%	81.6%
卵巣	64.3%	65.3%	51.0%	48.2%
前立腺	100.0%	100.0%	99.2%	98.8%
腎臓など	71.0%	69.9%	63.3%	62.8%
膀胱	67.7%	68.5%	63.0%	61.1%
甲状腺	93.0%	92.6%	86.8%	85.7%

全部位では、5年生存率が68.9%、10年生存率が58.9%となっています。

表中にそれぞれの生存率が二つ並んでいますが、左の色付けをしたものが今回の発表分で、右は昨年の発表分です。この両者を比較すると5年生存率、10年生存率ともわずかに伸びているように思えますが、この差については臨床的な意味はないと結論づけられています。部位別生存率をグラフで表します。



一口にがんと言っても部位別にみると生存率はずいぶん異なります。生存率の高い部位は、前立腺、乳(女)、甲状腺、子宮体、咽頭であり、生存率の低い部位は、膵臓、胆のう・胆管、肝、食堂、肺でした。この傾向も昨年発表分と変わりはありません。

なお今回の発表には、部位、病期、性別、年齢、初回治療など様々な条件を組み合わせて相対生存率をみることができるデータベース KapWeb のことも紹介されていました。

なお報道では、コロナによって早期発見が十分に行われなくことへの懸念が表明されていました。コロナ禍といえども健康診断はしっかりと行う必要があることを改めて認識しました。